

## アオバズクの巣近くで営巣を試みたスズメについて

川本美千夫<sup>1</sup>

## はじめに

これまで猛禽類の巣の近くで営巣する鳥については内田（1985）によって報告されているが、フクロウ類についての記録はない。

今回、山口県徳山市中須北において、鉄橋の支柱にある穴で営巣中のアオバズクの近くにスズメが営巣を試みた例が観察された。スズメは造巣を途中で中止し、繁殖は完結しなかったが、これまでにこのような観察例はなかったので報告する。

また、調査対象となった穴は、1991年春、最初にスズメが巣として使用していたものを、ブッポウソウが横どりし、次にアオバズクがブッポウソウを追い出して繁殖を行なったという経過を経た場所であった。

## 調査場所・期間

観察場所は、山口県内の山間部にあるダム（菅野ダム）に流れこむ川にかかるランガー型の鉄橋（川久保橋）である（図1）。この橋のアーチ部には細長い穴が合計8か所あり、このうちの南西側の、路面からの高さ5.6mの位置の穴の下部でアオバズクが繁殖していたところ、同じ穴の反対側にスズメが営巣を試みた（図1の矢印1、図2）。同じ南西側の対岸の穴でブッポウソウが繁殖に使用し（図1の矢印2）、残りの6か所の穴のうち5か所でスズメが繁殖した。

観察は車の中から双眼鏡を使って行ない、穴に入るスズメの飛行路や、運びこむ巣材の種類、アオバズクの動きなどを記録すると同時に写真撮影を行なった。観察期間は1991年6月25～28日までの4日間で、1日の観察時間はともに午前中、平均約2時間であった。

## 観察結果および考察

アオバズクは6月初旬より橋の穴で営巣をはじめたが、6月25日にアオバズクの巣とは反対側、すなわち上部にスズメが出入りしているのを確認した（図2）。スズメは常に2羽で行動し、ときおり巣材を運びこんでいたが、アオバズクが存在が気にかかるようで、穴に入る時は直接入らず、穴の周囲に1度とまって様子をうかがってから入っていた。しかし、スズメの巣づくりはいっこうにはかどらず、6月26日、27日も巣の状態に目に見えるような変化はなかった。6月28日にはスズメの穴への出入りは確認されず、この時点でも巣の変化はあまり見られず、営巣を放棄したものと思われた。以後、数度の観察でもスズメの営巣行動は行なわれていなかった。

また、観察期間中、スズメの出入りや造巣行動に対して、巢中のアオバズク、および周囲の木陰で休んでいたもう1羽のアオバズクの行動に変化は見られなかった。

猛禽類の巣の近くで繁殖する鳥について、内田（1985）は防衛力のない鳥がより攻撃的な種の近く

---

1991年11月8日受理

1. 〒746 山口県新南陽市日地町 2-18, B-34

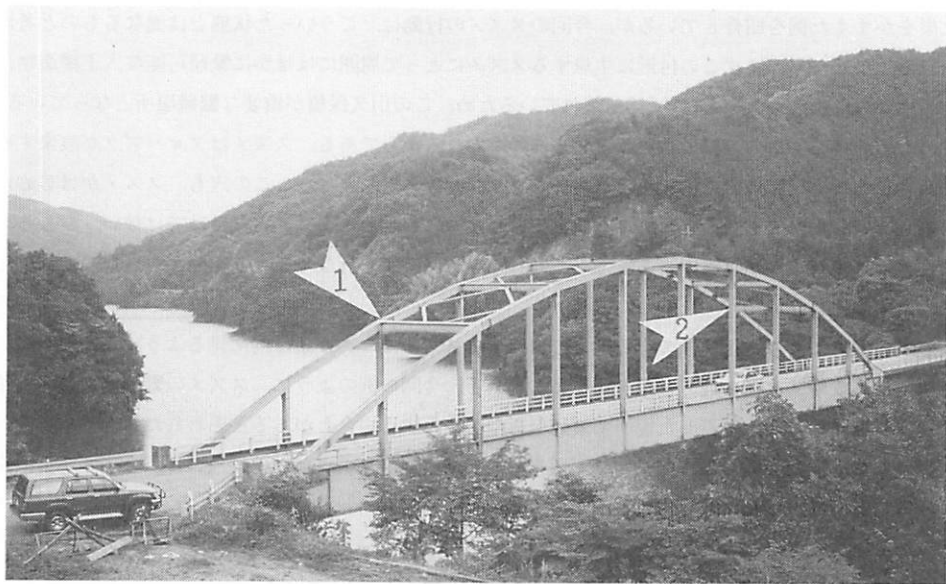


図1. 巣穴の位置と周囲の環境. 矢印の位置に巣穴があり, 1をアオバズクが使用し, 2をブッポウソウが使用した.

Fig. 1. The location of the nest hole (white arrows) and the surrounding environment. Arrow 1 indicates a nest hole used by Brown Hawk-Owls. Arrow 2 indicates a nest hole used by Broad-billed Rollers.

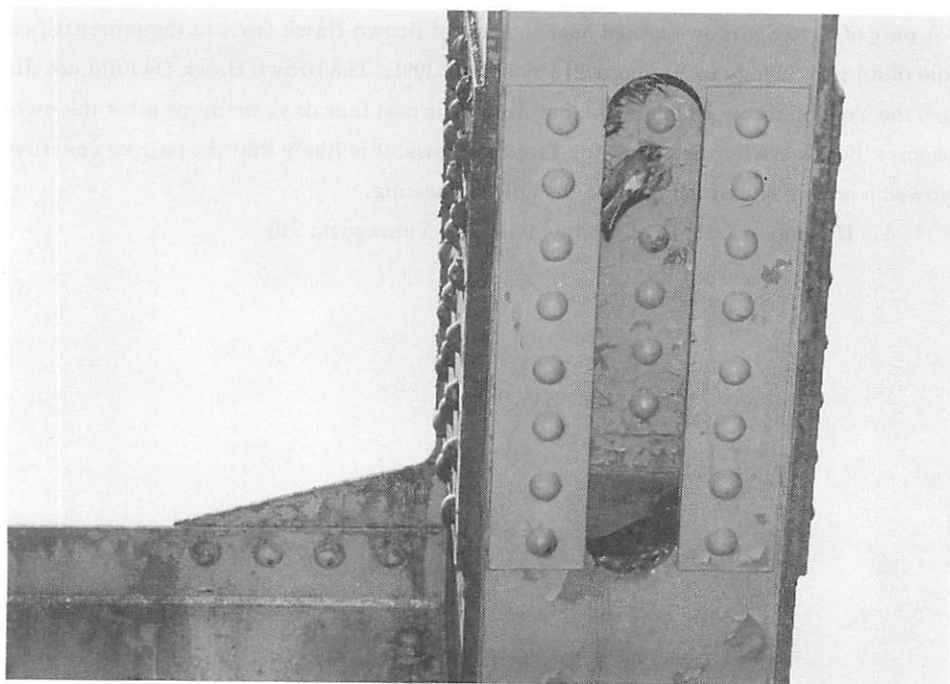


図2. アオバズクとスズメが巣として使用した穴.

Fig. 2. The nest hole used by Brown Hawk-Owls and Tree Sparrows.

に巣をかまえた例を紹介しているが、今回のスズメの行動は、こういった状態とは異なるものと考えられる。なぜなら、まずこの付近に生息するスズメにとって周囲にはほかに繁殖可能な人工構造物はなく、いちばん近い人家とは約250m離れているため、この川久保橋が重要な繁殖場所となっている。このため、スズメはこの橋に執着していると考えられるからである。スズメはアオバズクが渡来する前からこの橋の複数の穴で営巣をはじめており、今回観察対象となったこの穴も、スズメがはじめに繁殖していた場所であり、アオバズクが営巣したためにわざわざ寄ってきたわけではない。むしろ、スズメはアオバズクが営巣中であっても、同じ穴の中に繁殖を行なえそうな空間があったので営巣を試みた可能性が高い。

以上の理由により、猛禽類の巣の近くで繁殖するスズメは、タカ類の例に見るように防衛力がないためにより攻撃的な種の近くに巣をかまえる場合と、今回の例のように、スズメの繁殖場所に猛禽類が侵入し繁殖したが、執着した場所で繁殖を行なおうとする場合とがあると思われた。

おわりに、観察中同じような条件で繁殖を行っていたブッポウソウの巣穴へは、スズメが営巣を試みることはなかったが、理由は不明である。

#### 引用文献

内田博. 1985. 猛禽類の巣近くで繁殖する鳥について. 日鳥学誌 35: 25-32.

Tree Sparrows *Passer montanus* nesting near the nest of Brown Hawk-Owls

Michio Kawamoto<sup>1</sup>

A pair of Tree Sparrows nested near the nest of Brown Hawk-Owls in the same artificial hole of an iron bridge in Yamaguchi Prefecture, 1991. The Brown Hawk-Owl did not disturb the Tree Sparrow which began building their nest four days or more after the owls. Because there were few nest sites for Tree Sparrows, it is likely that the pair of sparrows showed a strong site attachment to the hole for nesting.

1. Hijimachi 2-18, B-34, Shinnanyou-shi, Yamaguchi 746